



10月「グリーン排水推進月間」です

本県では「いい知恵、いい水、いい環境」をテーマに、市町村とともにさまざまな事業を実施し、生活排水対策を促す取り組みや実践活動を県民運動として進めております。地域の水辺を守るのは、その地域に住む人々に他なりません。一人ひとりが、各家庭から出る水の汚れをできるだけ減らすライフスタイルを実践していきましょう。



ふちもに活動情報

●9月のコメント

- ・ジャンボタニシの卵が多くみつけた。(3件)
- ・ゴミが多い。(3件)
- ・魚の群れ発見 (3件)
- ・油膜あり (2件)
- ・魚釣りが大勢見える。ハゼが時期。
- ・下水臭が強く臭った。透明度がきわめて悪い。
- ・周辺には稲刈りをする農機具の音が響いていた。
- ・濁流になっている。泥を巻き上げている感じ。

ズームイン!



—安城市婦人会—

清らかな川を求めて

生活排水浄化に取り組んで

私たち安城婦人会では「ふれあいのある住みよい地域づくり」のために活動しており、今年度は環境問題を中心テーマにしました。特に、「水」は後世と共有する貴重な環境資源として、健全に循環させ確保することが私たちの重要な課題であります。

公共用水域における水質の汚濁については、工場等からの産業排水の規制が強化され排水処理対策の進んだ今日、台所・風呂・トイレなどの生活排水が大きな原因となっています。

愛知県唯一の天然湖沼である油ヶ淵は、環境省発表の水の汚れの状況の統計を見ますと、毎年上位に位置しています。そして、私たちの家庭から出される生活排水が、その汚れの69%を占めていることを知り、あらためて生活排水対策の大切さを多くの人に知っていただくことが必要であると実感しました。

油ヶ淵には安城市内からは4つの河川が流れ込んでいます。長田川、半場川、朝鮮川、稗田川です。市では、毎年7月の最終日曜日にこれらの河川を順番に清掃しており、婦人会も参加しています。

また、生活の中で、私たちができること（取り組んでいけること）をいくつか紹介します。

- ① 目の細かい流し台用ストレーナーにストッキング風水きりネットを使用する。
- ② 米のとぎ汁はバケツにためて植木にやる。
- ③ 合成洗剤はやめて自然にかえる天然石けんを使う。
- ④ フライパンに残った油は新聞紙等でふき取る。揚げ物等に使い切った油で廃油石鹸を作る。
- ⑤ アクリルたわしをできるだけ使い、洗剤を使わないように心掛ける。

小さいことかもしれませんが、各家庭における一人ひとりのちょっとした努力の積み重ねで、河川の汚れを減らすと同時に、次代を担う子どもたちに豊かな自然やふるさとを大切に「心」も伝えていけたらと思います。

私たちが幼い頃の川の流れはとてもきれいで、水泳を楽しむこともできたのですが、現在は水泳どころか魚さえ泳ぐことができません。1日でも早く、油ヶ淵の昔の姿を取り戻すことができるように努力していきたいと思っております。





## ズームイン!

### — 大山小学校 —

本校は、安城市南部に位置し、学校のすぐ東には半場川が流れている。

本校でこの半場川的环境美化が総合的な学習のテーマとして定着したのは、今から3年前、平成17年度からである。当時の4年生が社会科で学区の歴史を学習した際、学区のお年寄から、戦前の半場川と住民の関わりを取材する機会があった。

当時の半場川には、鮎を始め、たくさんの魚が棲み、人々はそれを捕って食べていた。また、洗濯の場であったり、子どもの遊び場、水浴の場であったりし、人々の生活と密接につながっていた。何よりも、美しい水環境があった。

この学習を通し、排水路程度にしか認識されていない現在の半場川との違いを悲しく感じた子どもたちは、半場川的环境美化への関心を高め、総合的な学習で、半場川的环境美化をテーマにして取り組むようになった。

5年生の取組は、5月の遠足から始まる。学校のすぐ東、大海古川と半場川の合流地点に架かる家下橋から半場川の堤防に入り、油ヶ淵遊園地(碧南市)まで、約8kmの道のりを、水面や植物を観察しながら歩いていった。

この遠足で、子どもたちは、半場川と油ヶ淵がつながっていることを実感し、水環境への関心を一気に高めた。

その後の活動は、半場川の水質調査や動植物調査、人々の意識調査や実態調査、アピール活動、半場川清掃活動など様々である。

2学期が始まってすぐの9月9日(火)には、油ヶ淵の湖面調査体験を実施した。油ヶ淵漁協、油ヶ淵美化ネット、市環境保全課を始め、様々の方々から応援していただいて実現することができた。

当日は、学級を3つのグループに分け、漁協の方が出してくださった3艘の船で、湖面から油ヶ淵を観察した。

好天に恵まれ、湖面を滑るように進む船の中から、子どもたちは気持ちよく湖面や湖岸を観察することができた。飛び跳ねる魚に歓声をあげ、羽根を休める水鳥を目にし、この湖に対する親近感を高めることができた。

魚を放流したり、漁協の方から油ヶ淵の話の聞いたり、水質調査を実施したりと盛りだくさ



んの体験で、とても有意義な時間を過ごすことができた。この紙面をお借りして、応援して下さった方々に、改めてお礼を申し上げたい。



### ふちもに事務局だよ!

## アクション油ヶ淵

油ヶ淵水質浄化促進協議会が主催する啓発活動の一つとして本年度は「アクション油ヶ淵 in 碧南」を11月1日(土)午後1時30分から碧南市芸術文化ホール(エメラルドホール)で開催いたします。

これは、油ヶ淵の水質浄化に向けた取り組みの紹介や公演などを行い住民の方により一層の水質浄化活動に取り組んでいただくためのイベントです。

本年度は碧南市のグループの方に活動内容等を発表していただく予定です。(別添チラシを参照)

また、このイベントにあわせ、「鉄崎幹人の発見!油ヶ淵・みてみよう油ヶ淵の生き物たち、そして考えよう油ヶ淵の環境」と題し下記のとおり開催しますので、是非ご参加下さい。

### アクション油ヶ淵関連事業

#### 「鉄崎幹人の発見!油ヶ淵」

- ① 日時 平成20年11月1日(土)  
午前9時30分から正午まで  
小雨決行(当日午前7:00に決定)
- ② 場所 油ヶ淵(集合場所碧南芸術文化ホール)
- ③ 講師 鉄崎幹人(アウトドア自然派タレント)
- ④ 目的 講師から説明を聞きながら油ヶ淵周辺の生物や鳥、植物などの生態を観察をし、周辺環境を観察することで油ヶ淵への関心を高めていただき、環境保全活動への参加を促す。
- ⑤ 対象者 油ヶ淵周辺4市に在住・勤務・在学の方  
30名程度  
(小学生は2年生以上で保護者同伴のこと)
- ⑥ 募集期間 平成20年10月1日~10月24日  
(先着順、定員になり次第締め切り)
- ⑦ 申込先 愛知県環境部水地盤環境課  
TEL 052-954-6219(ダイヤルイン)  
碧南市経済環境部環境課  
TEL 0566-41-3311(代表)

### 油ヶ淵流域市民モニター

#### ふちもに情報局 vol. 14 平成20年10月発行

発行 愛知県環境部水地盤環境課

調整・生活排水グループ

〒460-8501

名古屋市中区三の丸三丁目1-2

電話 052-954-6219(ダイヤルイン)

mail:mizu@pref.aichi.lg.jp